

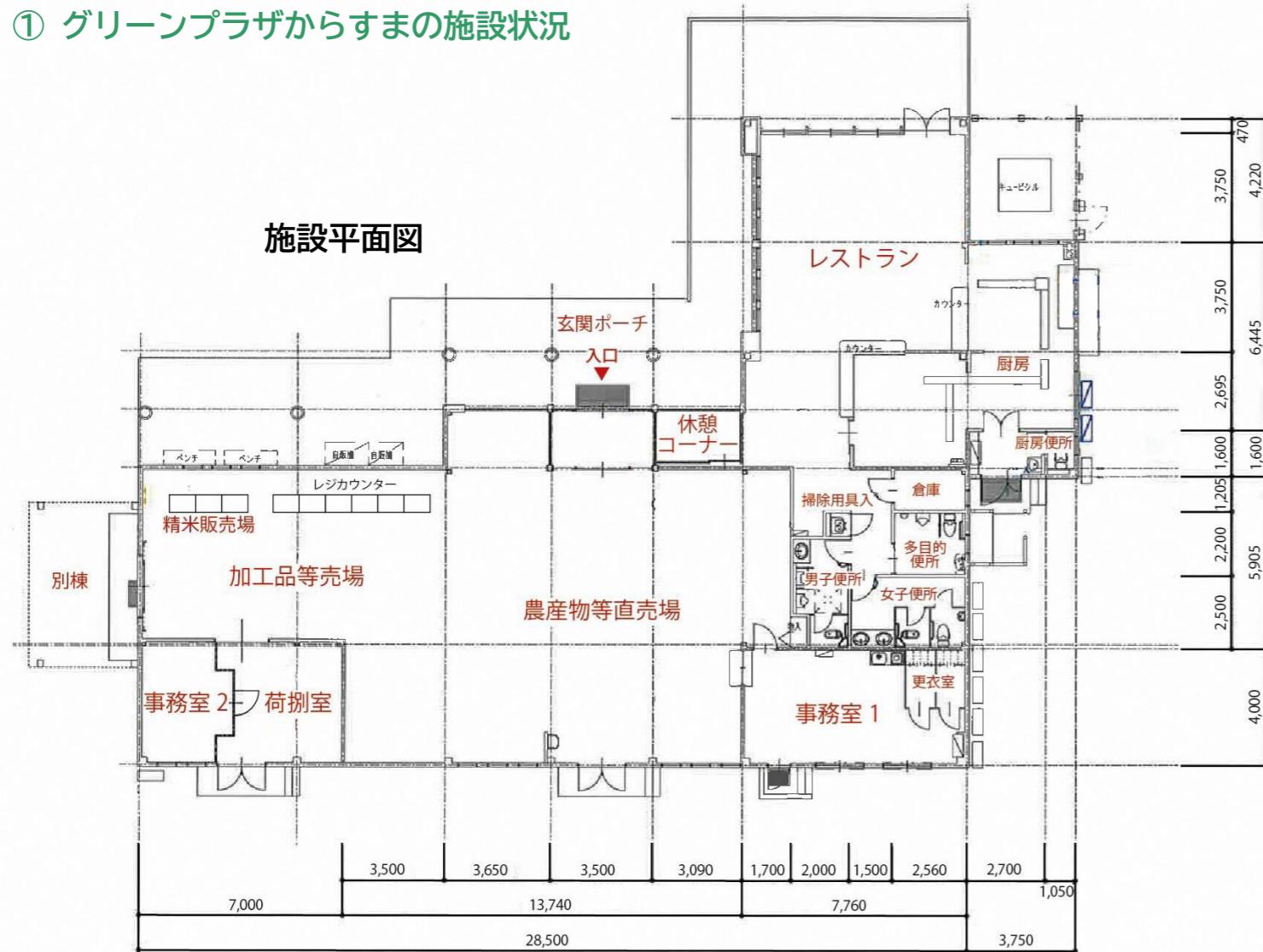
### 3. 道の駅「草津」について

### 3-2 各施設の状況

## (1) グリーンプラザからすま

#### ① グリーンプラザからすまの施設状況

施設平面図



## レストラン（ベジカフェ）

- ・面積は約 55 m<sup>2</sup>で席数は 30 席あります。
  - ・窓に面してテラスが設けられていますが、積極的な利用はされていません。
  - ・団体予約の申し込みがありますが、客席数が少ないため受入れができない状況です。
  - ・12 時前後のお昼のピーク時間帯は満席になります。
  - ・地場産のメニューが少ないです。



### ▲ベジカフェ入口からみた店内の様子



▲テラス



▲テラス

## 農産物等直売所（ベジショップ）

- ・売場面積は約 230 m<sup>2</sup>で、このうち野菜と加工品売場は約 145 m<sup>2</sup>です。
  - ・売場が全体的に狭いため、商品陳列に限りがあり、通路も狭い状態になっています。



### ▲入口から見た店内の様子



▲通路（この場所の通路幅は 80 cm）



▲レジの横にある精米販売場



▲加工品等売場



▲土產物売場

### 3. 道の駅「草津」について

#### 3-2 各施設の現状

##### 観光情報コーナー

- 面積は約 1 m<sup>2</sup>程度で、観光マップ、周辺施設のイベント案内、道路マップ等のパンフレットやチラシが設置されています。
- 設置場所は、トイレ入口付近とベジカフェ入口付近の 2箇所あります。



##### 休憩コーナー

- 旧喫煙所は現在、休憩コーナーとして利用されています。(面積：約 5 m<sup>2</sup>)



▲休憩コーナー（休憩で利用中）



▲休憩コーナー

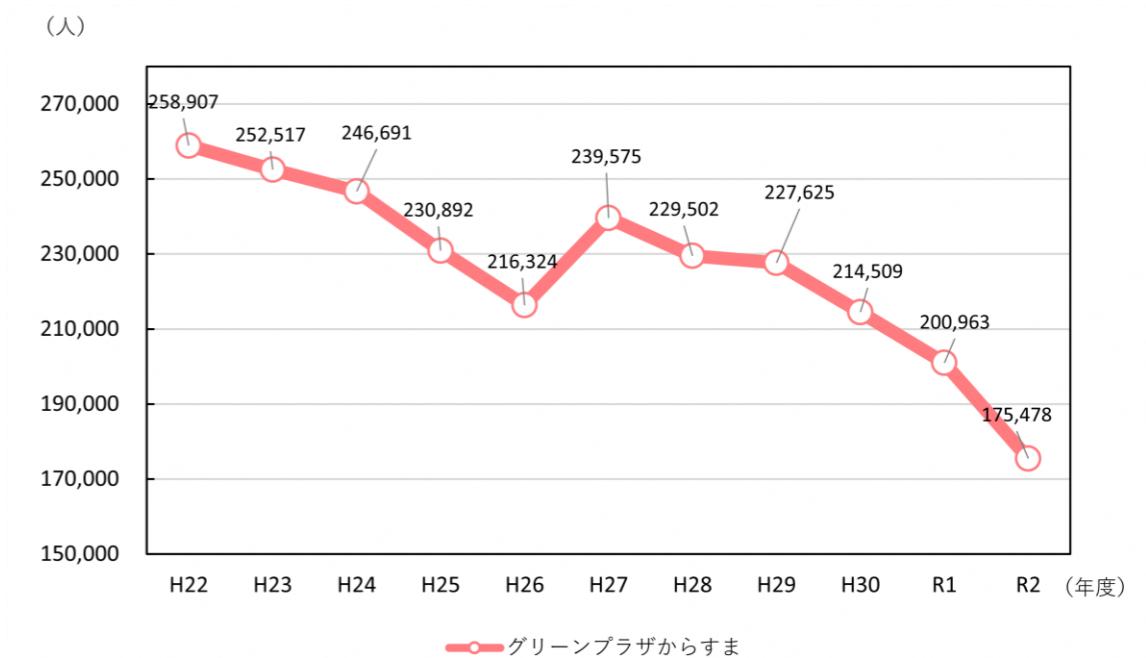
##### ② 運営状況

- 運営は平成 14 年の「(有)からすま農産」設立と同時に、本市と締結した覚書に基づいて、行政財産使用許可により行っています。
- ベジショップは登録事業者（約 240 名）が納品したものを委託販売しています。
- 販売手数料は当初 10%で設定していましたが、消費税が 8%に改定された平成 26 年頃に 25%に改定しました。

##### ③ 経営状況

###### ● 入店客数（レジを通った人数）

- 平成 23 年度以降は減少傾向が続き、一旦、平成 27 年度に増加に転じましたが、再び減少傾向が続き、令和 2 年度は 17 万人まで減少しています。
- 全体的に入店客数が減少しているため、客離れが起こっていると考えられます。
- 平成 26 年度に入店者数が大きく減少したのは、6 月に空調設備の改修工事が行われ、ベジカフェは休業、ベジショップは別棟での臨時営業となつたことに併せ、例年より 6 月の営業日数が 2 日間少なかった事などが要因と考えられます。
- 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/24～5/31 の期間は臨時休業となつたことで入店者数が減少しました。



### 3. 道の駅「草津」について

#### 3-2 各施設の現状

#### ● 売上高、営業利益

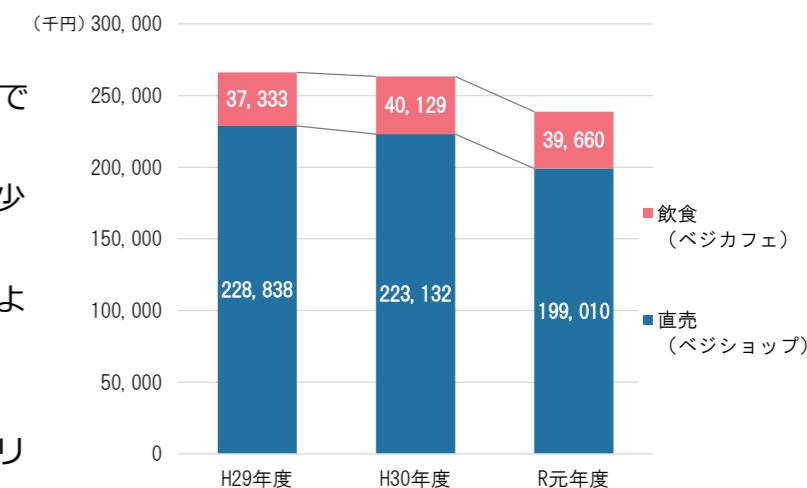
- ・売上高は入店客数と同様、平成 22 年度以降は減少傾向が続き、一旦、平成 27 年度に増加に転じましたが、再び減少傾向が続いています。
- ・売上高は令和元年度が約 2.2 億円となっており、ピーク時（平成 19 年の約 3.3 億円）の約 3 割減となっています。
- ・販売した商品の「売上高」から「売上にかかったコスト（材料費や人件費等）」を差し引いた売上高営業利益率は低下傾向を示しています。
- ・1 人あたりの販売単価は約 1,100 円で推移しており、農林水産物直売所の全国の平均は、平日が 1,050 円前後、土日祝が 1,180 円前後と比べると、同等の金額となっています。



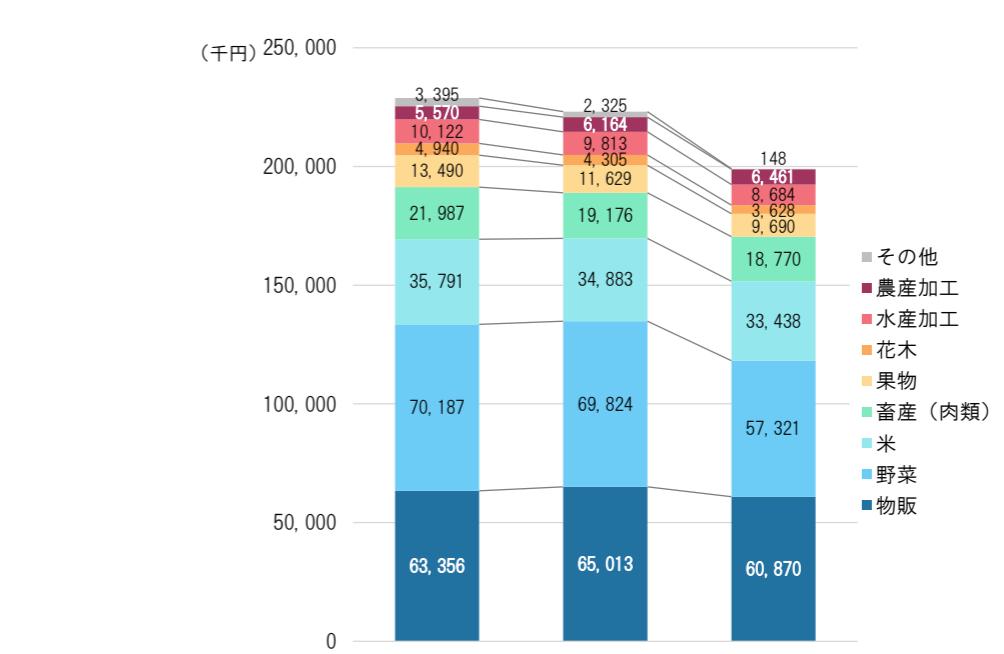
グラフ3 - グリーンプラザからすま売上高、営業利益の推移

#### ● 部門別売上

- ・売上の 8 割弱は直売部門で占めています。
- ・しかしながら、売上は減少傾向となっています。
- ・飲食部門の売上は、おおよそ横ばいです。
- ・ベジカフェでは麺類、丼物、おにぎり、ソフトクリーム等を提供しています。
- ・また、オリジナル商品として「あおばなソフト」があります。



グラフ4 - 直近3箇年の部門別売上



グラフ5 - 直近3箇年の直売（ベジショップ）部門の売上詳細

- ・直売の売上詳細（グラフ4）をみると、どの部門も売上が減少傾向となっています。
- ・その中でも特に野菜の売上が大きく減少しており、令和元年度は平成 30 年度と比べ約 1,200 万円、売上が減少しています。また、物販、その他、果物では約 200 万円、売上が減少しています。
- ・物販の売上の多くは、おかき等の家庭向けの駄菓子で、土産物の売上は少ない状況です。
- ・一方、農産加工商品の売上はわずかですが、増加傾向にあります。